



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,068	7.4	43	-	56	-	32	-
2019年3月期第1四半期	1,925	△0.7	△20	-	△8	-	△17	-

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 20百万円( -%) 2019年3月期第1四半期 △38百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.60	-
2019年3月期第1四半期	△9.69	-

※ 2018年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,059	6,850	67.6
2019年3月期	10,294	6,884	66.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,804百万円 2019年3月期 6,839百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,910	0.0	310	1.0	360	1.7	230	0.0
								125.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,876,588株	2019年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	47,630株	2019年3月期	47,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,828,958株	2019年3月期1Q	1,829,430株

※ 2018年10月1日付で、普通株式5株を1株の割合をもって株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移した一方で、米中貿易摩擦など通商問題の影響や消費税の引き上げによる景気悪化への懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への関心は依然高く、「食品等事業者」へのHACCP(ハサップ)の導入義務化を翌年に控え、一段と高い品質・衛生管理体制の整備が求められることから、製造コストの増加傾向が当面続くものと思われまます。加えて、少子化が進み量的な拡大が見込めないなか、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、エネルギーコストや物流コストの上昇など負担は益々増大しております。また、2019年10月からの消費税増税では、「軽減税率制度」が導入されるものの、消費者の節約志向はさらに強まるものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループでは、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000の認証取得及びバージョンの更新を継続的に実施しており、品質の維持・向上のために継続的かつ積極的な設備投資を行っております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主要事業である凍豆腐などの売上が、前連結会計年度に続き好調に推移したことから、売上高は20億6千8百万円(前年同期比7.4%増)となりました。利益面では、品質のさらなる向上や、増産投資等に伴う減価償却費や諸経費等の増加がありましたが、売上原価の上昇を抑えるための生産体制の継続的改善や製造技術の向上などに従来以上に注力してまいりました。これらの業績改善施策に加え、増収効果もあって、営業利益は4千3百万円(前年同四半期は2千万円の損失)、経常利益は5千6百万円(前年同四半期は8百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3千2百万円(前年同四半期は1千7百万円の損失)と増加いたしました。部門別概況は、次のとおりであります。

#### [凍豆腐]

凍豆腐では、引き続き市場の拡大・活性化を図る方針であり、当第1四半期連結累計期間におきましても継続して活動してまいりました。また、当社グループの食品研究所にて、健康機能性について継続して研究を進め、業界を挙げて製品価値の訴求に努めてまいりました。その結果、売上高は9億7千9百万円(同16.2%増)と大きく増加いたしました。営業面では、消費者の皆様に対し凍豆腐の健康機能性を分かり易くお伝えするため、業界では初の機能性表示食品として認可を受けた商品を発売するなど活性化に努めております。

#### [加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底を図るとともに不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善に引き続き努めております。なかでも前連結会計年度から、大手流通や老舗料亭との共同企画商品の開発・発売や当社の強みを活かした「納豆汁」のアイテムアップなど売上高の増加に注力してまいりました。その結果、売上高は5億5千4百万円(同0.8%増)となりました。

#### [その他食料品]

その他食料品では、売上高は5億3千4百万円(同0.3%増)となりました。とりわけ、嚥下機能が低下したお客様向けの食品を中心とした医療用食材につきましては、引き続き増収で推移しております。なお、消費者庁より本年6月に嚥下困難者用食品として特別用途食品の表示許可を受けました。これにより、冷凍介護食カットグルメブランドの「ふんわりなめらかこうや」(トレタイプ)を今秋より発売する予定です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ2億3千5百万円減少し、100億5千9百万円(前連結会計年度比2.3%減)となりました。資産の減少の主な要因は、現金及び預金の増加1億2千4百万円などがあったものの、受取手形及び売掛金の減少3億1千7百万円や、有形固定資産の減少2千2百万円、無形固定資産の減少1千7百万円があったことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ2億1百万円減少し、32億8百万円(同5.9%減)となりました。負債の減少の主な要因は、設備投資などによる設備関係支払手形の増加9千6百万円があったものの、長期借入金の減少1億1百万円や、短期借入金の減少3千4百万円、賞与引当金の減少9千9百万円などがあったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ3千4百万円減少し、68億5千万円(同0.5%減)となりました。これは投資有価証券の時価下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少1千9百万円や、配当金の支払による、利益剰余金の減少2千2百万円があったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ1.2ポイント増加し67.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,718,696	2,842,941
受取手形及び売掛金	1,678,121	1,360,658
たな卸資産	796,846	821,606
その他	56,189	58,412
貸倒引当金	△5,381	△5,210
流動資産合計	5,244,471	5,078,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,777,769	5,789,705
減価償却累計額	△4,462,422	△4,490,588
建物及び構築物(純額)	1,315,347	1,299,116
機械装置及び運搬具	6,409,803	6,427,397
減価償却累計額	△5,319,122	△5,372,399
機械装置及び運搬具(純額)	1,090,681	1,054,997
土地	1,701,244	1,701,244
リース資産	202,426	202,426
減価償却累計額	△100,408	△109,376
リース資産(純額)	102,018	93,050
建設仮勘定	4,590	43,289
その他	450,196	454,558
減価償却累計額	△381,766	△386,839
その他(純額)	68,429	67,718
有形固定資産合計	4,282,310	4,259,417
無形固定資産	101,972	84,968
投資その他の資産		
投資有価証券	590,354	569,990
繰延税金資産	11,740	4,038
その他	63,764	62,248
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	665,798	636,217
固定資産合計	5,050,082	4,980,604
資産合計	10,294,553	10,059,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	544,221	549,990
短期借入金	511,371	477,150
リース債務	44,596	42,312
未払金	445,517	430,705
未払法人税等	52,645	29,100
賞与引当金	130,826	31,477
設備関係支払手形	67,512	163,983
その他	261,363	234,759
流動負債合計	2,058,054	1,959,478
固定負債		
長期借入金	1,133,979	1,032,210
リース債務	73,902	64,723
長期未払金	89,555	89,929
繰延税金負債	-	7,978
資産除去債務	47,794	47,858
その他	6,350	6,350
固定負債合計	1,351,581	1,249,050
負債合計	3,409,635	3,208,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,746,208	3,723,533
自己株式	△131,819	△131,819
株主資本合計	6,864,657	6,841,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△88,019	△107,387
為替換算調整勘定	62,856	69,784
その他の包括利益累計額合計	△25,162	△37,602
非支配株主持分	45,423	46,106
純資産合計	6,884,918	6,850,485
負債純資産合計	10,294,553	10,059,013

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,925,649	2,068,472
売上原価	1,381,050	1,435,679
売上総利益	544,598	632,793
販売費及び一般管理費	565,423	589,559
営業利益又は営業損失(△)	△20,824	43,233
営業外収益		
受取利息	645	594
受取配当金	5,343	6,976
受取技術料	2,846	2,968
補助金収入	2,250	580
雑収入	3,250	4,619
営業外収益合計	14,336	15,738
営業外費用		
支払利息	1,632	1,918
雑損失	539	297
営業外費用合計	2,171	2,216
経常利益又は経常損失(△)	△8,659	56,755
特別利益		
固定資産売却益	589	-
特別利益合計	589	-
特別損失		
固定資産除却損	2,993	2,744
特別損失合計	2,993	2,744
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,064	54,010
法人税、住民税及び事業税	4,265	4,336
法人税等調整額	2,477	17,568
法人税等合計	6,743	21,904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,807	32,106
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△86	△87
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,721	32,193



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,807	32,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,791	△19,368
為替換算調整勘定	△9,737	7,698
その他の包括利益合計	△20,529	△11,670
四半期包括利益	△38,336	20,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,276	19,752
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,060	682

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。